

◆◇◆ G3 と 36 の Chat から ◆◇◆

G3の発言: ちょっと思ったんですが、補綴を外すとかを国や厚生労働省が決める前に、

G3の発言: すでに、歯科業界の自発的な補綴外し、忌避が始まっていると。

G3の発言: 36さん、どう感じますか？

G3の発言: ある方のブログを読めば、言う事もっともなんですが、

G3の発言: 要は、立場の弱いものは団結して、歯科医院や歯科医師に向えと言う事になります。

G3の発言: 技工士の立場から言えば、当然の選択肢ですが、

G3の発言: それに応えられる歯科医院や歯科医師ばかりであればいいけれど、

G3の発言: それ以前に、歯科医院や歯科医師が、技工士に頼るかどうかの問題なんです。

G3の発言: みな歯科でも、歯科技工士は大事だと言ってくれますが、

G3の発言: 制度も、キンパラなどの高騰も、

G3の発言: 実質的には技工を回避する方向になってしまいます

36の発言: http://minsika.cocolog-nifty.com/blog/2007/10/post_6ce3.html

36の発言: ここで書きましたが

G3の発言: チェアサイドで技工士に頼らず、歯科医療ができればそれに越した事は無い

36の発言: 歯科医が自らホテツを外しています

36の発言: 2人の技工士です。 歯科医と技工士。

G3の発言: そうですよ。

G3の発言: 私は思うんですよ、

36の発言: 歯科医は技工士を下請けのように思っていますが、本質は違います。

G3の発言: 団結すればそれですむ問題じゃあないと

36の発言: 衛生士と歯科医師のほうがむしろそれに近いです

G3の発言: 時には歯科技工士のほうが主導権を握る所もあるし、

G3の発言: そうさせないために歯科医師が動く所もある

36の発言: 問題はお金を支払うというパワーバランスが崩れていることです

G3の発言: うんうん

36の発言: 実はみんなうるさがるいますが

36の発言: 7:3問題が本質であることは間違いないんです

36の発言: ゴジラさんが叩かれていることを見てもわかるように、

G3の発言: うん

36の発言: 「総責任放棄」なんです。

G3の発言: ですね。

36の発言: zepさんがいっていたことです。

36の発言: つまり、

36の発言: 直接凶星をつくるとみんな「おれは違う」と。

G3の発言: そうですね

36の発言: 逃げるんですよ。

G3の発言: 歯の悪くない人にはわからなんでしょうけど、歯科の原体験って痛みなんですよ。

G3の発言: 歯茎のうんだところに針を刺して・・・

G3の発言: 貧乏だったし、歯科医療の大切さとか分かっていなかったし、

G3の発言: 歯科医院もすくなく、そういう時代、歯科医療は、痛みから開放される、ありがたい存在。

G3の発言: 歯科医療に対して感謝があったはず。

G3の発言: 医療保険だって、制度が出来ても、半額負担だった時代、だれも受けられなかった

G3の発言: 新生児が無料になって、初めて、生存率が上がった。

G3の発言: それがどういう事なのか、みな忘れている。

36の発言: 問題の根本は同じなんですねえ

G3の発言: 津曲さんが言うように治癒なんですよ。裁量権というもの。

G3の発言: 治癒を貫徹させる為に必要であって

36の発言: 裁量権の問題をいうのが難しいのは、ゴジラさんが言うように、

G3の発言: 保険制度を維持するために必要な事じゃない、

36の発言: むしろ裁量権がないことで助かってる歯科医もいるということ。

G3の発言: 技工士も、そうでしょう。

36の発言: それと歯科医の裁量権を「自分で判断してよい」という権利の部分だけを都合よく使うことなんです。

G3の発言: 保険制度の縛りも、無い事が自費で当然となる。

36の発言: だから裁量権とオートノミーは切り離せない

36の発言: そこを伝えたいんです

36の発言: フリーダムとオートノミーは大人にじゃないとだめなんです

G3の発言: 社会基盤を形作るピースの一つが歯科医療なんです

36の発言: 大人に与えられた権利と義務

G3の発言: 生き残りをかけるのは当然の権利だけど、じゃあ、誰が歯科医療を行うのかと言え
ば、

G3の発言: 歯科医師なんです

36の発言: 秋元さんがいつもいうことですが

G3の発言: 今の法や立場のままなら、歯科技工士はそこから逃れている

36の発言: 「先生方は法の下に規定されている専門家なんです。それをしっかり意識して下さい」と

G3の発言: わかります。

36の発言: 「人に刃物を向けても犯罪にならない稀な存在なんです」と。

G3の発言: 言えてる。

36の発言: 歯科医はそれを忘れています

36の発言: 貧乏になったとかそういうことに関心がいきすぎて、本質をみようとしません。

G3の発言: 技工士がそのナイフを作るとか、たくさん作らせているとかじゃ駄目なんですね。

36の発言: 一人は歯科の医師

36の発言: もう一人は歯科の技工専門師なんです。

G3の発言: 技工の需要なんて、自然発生でいいはずなんです

G3の発言: こういう考えをどこにだせばいいか・・・

36の発言: 今は歯医者がとってきた営業を技工士という工場に発注して利益を得ている団体

36の発言: それが歯科業界です

G3の発言: そうですね

36の発言: これを気づいて欲しいです

36の発言: しかも営業が「会社では営業が一番偉いんだ。おまえら営業がなければ仕事ないだろ」

36の発言: と息巻いてる。

36の発言: 営業は工場のミスの尻拭いもするんだ、給料が一番高くてあたりまえだろ、とも言っている

G3の発言: ここまで話してきた中には、中々表に出せない突っ込んだ話も在るわけですが、

G3の発言: 最初に話こんだ時より、だいぶ状況も変化してきていて、ハードルやタブーも減ってきているとG3の発言: 思うんですけど。

G3の発言: とかくこれまでは技術論や制度論が中心だった。

G3の発言: オートノミーとは内心の問題、タブーをタブーたらしめてきた心のあり方の問題かと。

36の発言: ひとつ気をつける必要があるのは

36の発言: みな歯科はある意味歯科医の中では先にいっているということです。

36の発言: プロフェッショナル オートノミーコンテンツはみな歯科会員向けではなく一般の歯科医です。

36の発言: ですから、我々だけが理解したということでは駄目で、誰にとっても分かりやすく伝える

36の発言: 必要があります。

G3の発言: 私が言いたいのは、歯科医師歯科技工士の中でもトップコンテナーだけが突っ走っても、

G3の発言: 底辺のものはついていけない。

G3の発言: これは、大塚さんが言った、そこまで理解していないというのと同じ事ですね。

G3の発言: 時間がないけど、受け入れる環境作りは必須だと思うわけです。

36の発言: 今読みますね。

G3の発言: トップコンテナーだけが、自費診療や自費の補綴だけのところが提案を受けいれても、

G3の発言: 何故これをやるのかを、言われてじゃなくて、自分から考えさせて、

G3の発言: 自分でその結論にたどり着いたと思わせないと、自費がどうのじゃなく

G3の発言: どうすれば、歯科では自費と保険の混在は当たり前だけど、自費も保険も医療だったんだよ

G3の発言: と気づくようになるのかな、そう気づくようになってほしい訳だけど。

36の発言: なるほど

G3の発言: 物の価値から補綴物を見るのは

36の発言: 同じようなことをチューさんに言われました

G3の発言: それは歯科技工士だったらそれでいいけど、歯科医師だったら、物の価値じゃなく、

G3の発言: 医療の価値で判断して欲しいよね。

36の発言: 新年会でもそうだったけど、私も含めみんな仕事としての歯科医療を毎日しているわけ
です。

36の発言: 例えば2011年には明細書をだすことになるとしても、

36の発言: だったら死に急ぐことはないだろうという意見が出ても仕方ないんです。

G3の発言: 思うに、どんな時代、どんな状況になっても、

36の発言: 3年間生き延びると、

36の発言: もちろんそれがミスチョイスであることは間違いありません。

G3の発言: 歯科は医療だという、テーゼは不変でないとおかしい。

36の発言: おかしいけど歯科医療の多くを占めている補綴は雑貨なんです。

36の発言: これも現実なんです。

36の発言: 雑貨なら商売でいいだろうと開き直る歯科医が増えてくるのも必然なんですよ

36の発言: だから秋元さんの書いた、

36の発言: 上半身は医師で下半身は商売人である歯科医師ということになるんです。

36の発言: これはもちろん変える必要があります。

36の発言: でも下半身がなくなればこまることも事実なわけで、

36の発言: つまり多くの歯科医が動くためには、

G3の発言: 確かに現実にはそうだけど・・・

36の発言: なくなった下半身の代わりを見つけないとならないんです。

36の発言: はっきり言って今の状況では歯科医が完全な医療を行えば完全に崩壊します。

G3の発言: 保険では採算性ゼロですからね。

36の発言: それは補綴が医療ではないからです。

36の発言: うん

36の発言: だから保険で残すのは医療で、補綴は完全に保険と切り離すしかないかもしれないと

36の発言: 私は今は思っています

G3の発言: どちらが言い出すかですね

36の発言: そうですね。いづれにしても今の状況は異状です

36の発言: 歯科医師が技工所を開設できないとかなんてどうでもいいことなんです

G3の発言: 言わせるなら、歯科からではなく厚生省

36の発言: 歯科医師には歯科医師の仕事

G3の発言: それがむりなら、国民から

36の発言: 技工士には技工士の仕事があるんです

36の発言: 理想は歯科医師が補綴では診断、形成、までを担当し、

36の発言: 技工士は印象、作成、セットをする。

36の発言: そして歯科医が交合調整をする。

36の発言: もちろん技工士は形成に対して意見を言える。
G3の発言: 将来像としてそれは出したいですよ。
36の発言: これがあるべき姿で、歯科医は診断、形成で報酬をもらい、
36の発言: 技工士は印象からのものでそのままの費用をもらう。
36の発言: これがあたりまえなんですよ
36の発言: 理想的でないにしろわずかにそれに近いシステムをつくれるのが機能付指示書です。
36の発言: 患者さんは作成部分を直接技工士に払っているという意識をもつことも出来ます。
36の発言: これがコンセプトとして広がれば将来的に補綴の作成費用を技工士に払うという意識が広
まり、
36の発言: 保険でもそれが導入される可能性もあります。
36の発言: 今の段階では保険でそういう区分はできません。
36の発言: でも自費なら可能なんです。
36の発言: だから自費に限ってやるという発想が出たとき私はこれだと思ったんです。

G3の発言: それにしても、歯科医師がプロフェッショナルであるか、理性があるかと問われる事、
36の発言: オートノミーは意識ですが実際にはシステムです。
36の発言: 僧がプロフェスするのはその時の意識ですが
36の発言: 意識が薄れ、墮落すれば追放されます
G3の発言: 超えられない意識のハードルを作っているんだとは思いますが。
36の発言: これはシステムです。
36の発言: それこそ理想論ではないですか？
36の発言: 意識だけで動けるのはせいぜい3割です。
36の発言: 厳罰や追放があるから、やる従う。
36の発言: そのシステムを今は国がしていますが。
G3の発言: ああ、なるほど
36の発言: それを自らでやろうというのがオートノミーです
36の発言: だから専門家集団でやる必要があるわけです。
36の発言: ピアレビューの発想もそこですね
36の発言: さおの森さんなんかはその辺をよく理解していると思います
36の発言: だから命令違反という言葉出る

February20, 2008 / G3 wrote